





オンラインで
学び、現場で
活かす



自治体の新任・若手職員のための

専門・技術職 実務基礎研修

土木　建築　施工管理　水道　下水道　電気設備



全国どこからでも受講可能

地方自治体の職員研修に導入しやすい
オンライン形式を採用。
移動時間や会場費を抑えながら、
実務に直結する知識を学べます。

開催概要

対象	自治体の新任・若手職員 各部署に配属された一般行政職
対応分野	土木・建築・施工管理・水道・下水道・電気設備
開催形式	Zoomを使用したオンライン研修 （前期・後期ともに分野別開催）
受講時期	前期受講の約半年後に、同じ分野の後期を受講
研修時間 料金	計10時間（前期1日5時間＋後期1日5時間） 税込 28,000円/1名（前期・後期2回分） 前期・後期を通しての受講をおすすめします。 どちらか一方のみ受講の場合はご相談ください。

自治体単独での開催も承ります。
研修分野・内容・日程などをご相談ください。

キャンセルポリシー

受講お申し込み後、受講料のお振込み前にキャンセルのご連絡をいただいた場合は、お申し込みの取り消しとして対応いたします。受講料のお振込み後にキャンセルされる場合は、申込締切日までにご連絡をいただいた場合に限り、受講料から返金手数料として一律1,100円を差し引いた金額をご返金いたします。

受講の流れ

01	02	03	04	05	06
事前登録	開催案内	正式申込	受講料振込	前期受講	後期受講
随時・任意	令和9年3月頃	令和9年4月頃	令和9年4月頃	令和9年5月頃	前期から約半年後
開催案内を受け取るための登録	登録者へ開催案内をお届け	Webフォームから正式申込	入金確認後、申込完了	終了後、証明書・報告書を発行	終了後、証明書・報告書を発行



事前無料登録がおすすめです

- ☑ 開催案内を優先的にお届け
- ☑ 研修内容の詳細を先行してお知らせ
- ☑ 「これだけは押さえたい！公共工事関連法予習プリント」をプレゼント

事前登録はこちらから

お問い合わせ　一般社団法人ソラケイ 自治体活性化事業部
050-1808-2521（代表）　contact@sorakei.org
ホームページはこちら
sorakei.org/jichitai

一般社団法人ソラケイ



自治体の現場で培った経験をもとに、業務の流れと実務の基本を伝えます。

人材不足や業務の複雑化が進む今、
現場で先輩が一つひとつ教える余裕が少なくなっています。

本研修では、自治体技術職OBを中心とした講師陣が、
現場で培った経験をもとに、業務の流れと実務の基本を
オンラインでわかりやすく解説します。

確認すべきことや判断のポイントなど、日々の仕事に役立つ知識を伝え、
職場の教育負担を軽くしながら、若手職員の成長と
次の世代への知識・経験の継承を後押しします。

講師紹介

行政実務と現場を知る講師が、自治体で本当に必要な知識を解説します。



宮本 一彦 1級土木施工管理技士

川越市副市長・建設部長を歴任。
土木・都市計画・まちづくりの経験を
活かした自治体職員研修を実施。



小高 慎太郎

地方自治体に33年勤務。
土木インフラ整備・維持管理に加え、
住民・事業者との調整を担当。

只今調整中

渕 正弘

穴沢汽缶工業株式会社 代表取締役。
東京都・目黒区などの公共工事において
多数の電気設備工事に従事。

技術力をつなぎ、地域を支え続ける組織へ

土木・建築に関わる施設の整備、工事の施工管理、水道・下水道・電気設備の維持管理など、自治体の技術職の仕事は、住民の安全と暮らしを支えています。

法令や手続き、安全管理、住民・事業者との調整など、身につける内容は幅広く、日々のOJTだけですべてを補うことは容易ではありません。配属先によって経験できる業務も異なるため、実務の基本を学べる機会が、職場での育成を支えます。

技術力の維持・向上、そして、安定した行政サービスを支え続ける持続可能な組織づくり。その両方につながるのが、次の世代を担う職員の基礎づくりです。

本研修では、法令・安全・住民対応などの基本を、実際の業務と結びつけて整理します。

現在の状況

採用依存型

専門知識のある人を採用できないと、
業務が回らない。



目指すカタチ

知識・技術継承型

知識と経験を継承し、
持続可能な組織へ。

現場は変わる

実感できる、4つの成果



新人の早期戦力化と、上司の同行・確認負担の軽減へ

このような自治体におすすめ

- 技術職の採用・確保が難しい
- ベテラン職員が退職を控えている
- インフラ担当部署に新任・若手職員が配属されている
- 日常業務が忙しく、十分なOJTができない